

# 一社移行で設立総会

水中ロボット協会 会長に原純貴氏選任

4月1日に一般社団法人に移行した日本水中

ロボット調査清掃協会の設立総会が11日、東京市ヶ谷のグランドヒル市ヶ谷で開かれ、新たなスター



原会長

トを切った。会長に原純貴・エコ・プラン社長、副会長に田中芳章・札幌施設管理社長、専務理事に中里聡・中里建設社長が選任された。

同協会は平成13年に水中ロボットによる不断水工法により配水池清掃を施工する企業10社が「日本上水道配水池ロボット

清掃協会」として発足。

同23年に「日本水中ロボット調査清掃協会」に名称を改称した。その後、工法も認知され、ここ3年間で受託件数356件、配水池数で738カ所と実績を積み重ねている。こうした背景から更にステップアップして水道事業の維持管理向上に貢献するため一般社団法人に移行した。

今年度は会員拡大、日本水道協会の水道維持管理指針2016での配水池の点検・調査・清掃の

義務化やロボット調査清掃業務を盛り込むよう働きかける。ロボットの技術指針、清掃積算要領、資格制度の充実、営業プロック会議の実施など、各種事業を展開していく。

原会長は「一般社団法人になっても課題はたくさんある。一つひとつ解決していきたい。新水道ビジョン実現の一翼を担っている自覚と責任を持ち、我々の役割を果たしていきたい」と決意を述べた。